

**受益者の皆様へ**

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「ロボット戦略Ⅱ 世界成長ファンド」は、2020年11月25日に第5期決算を行いました。

当ファンドはアイルランド籍投資法人「マン・ファンズ・VI plc」のサブファンドである「マン・AHL・ターゲットリスク」が発行する外国投資信託証券への投資を通じて、世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産に投資を行い、値上がり益の獲得を目指します。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**ロボット戦略Ⅱ 世界成長ファンド**  
**愛称: あんしんロボ**

商品分類 (追加型投信 / 内外 / 資産複合)

第5期 (決算日 2020年11月25日)

作成対象期間: 2020年5月26日~2020年11月25日

第5期末 (2020年11月25日)	
基準価額	10,023円
純資産総額	7,368百万円
第5期	
騰落率	6.2%
分配金合計	250円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められています。運用報告書(全体版)については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

**<閲覧方法>**

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書(全体版)」を選択

**T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

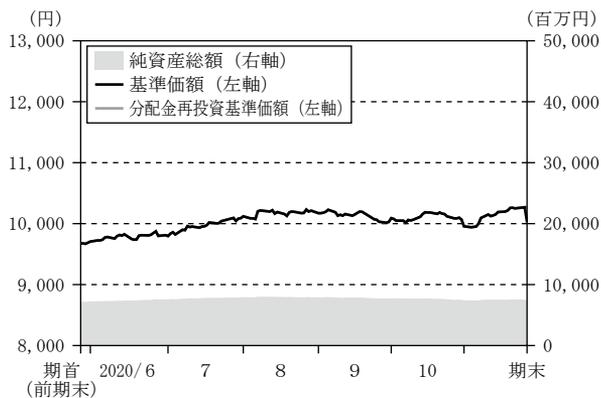
投信営業部 03-6722-4810

(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

# 運用経過

## 基準価額等の推移



第5期首：9,676円  
 第5期末：10,023円（既払分配金250円）  
 騰落率：6.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2020年5月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」において、国債セクターはほぼ中立となりましたが、株式、インフレ連動債、社債、商品セクターから収益を獲得し基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

### ■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）	7.0%
T&Dマネーアカウントマザーファンド	0.0

## 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2020/5/26～2020/11/25		
	金額	比率	
平均基準価額	9,972円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 ( 投信会社) ( 販売会社) ( 受託会社)	45円 ( 17) ( 27) ( 2)	0.455% (0.166) (0.272) (0.017)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 ( 監査費用)	1 ( 1)	0.009 (0.009)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	46	0.464	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

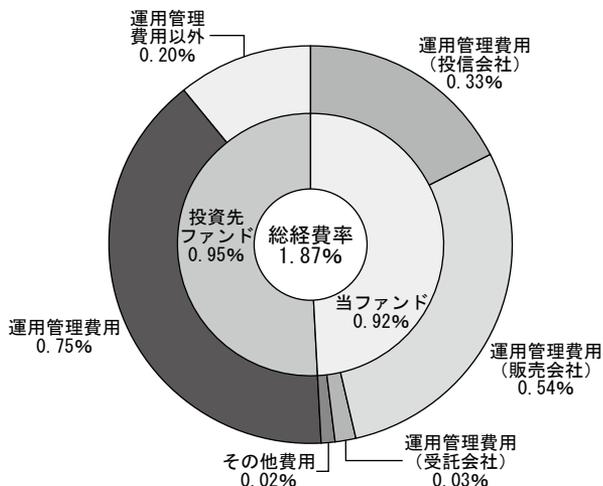
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

### (参考情報)

#### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、1.87%です。



総経費率 (①+②+③)	1.87%
①当ファンドの費用の比率	0.92%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。

(注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2018年7月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2018年7月17日 設定日	2018年11月26日 決算日	2019年11月25日 決算日	2020年11月25日 決算日
基準価額(分配前) (円)	10,000	9,454	10,019	10,023
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	1,300	250
分配金再投資基準価額の騰落率(%)	—	△ 5.5	20.0	2.5
純資産総額 (百万円)	493	2,218	2,647	7,368

- (注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。
- (注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

## 投資環境

---

### ■ 株式市場

期初から2020年6月上旬にかけて、各国の経済活動再開に伴い株価は堅調となりました。その後も8月いっぱい、米国や中国などで新型コロナウイルスの感染再拡大が確認された6月中旬、米中が相互の総領事館に閉鎖命令を出すなど地政学的リスクが高まった7月末等、一時的に株価の上値が重くなる局面はありましたが、欧米諸国の好調な経済指標や企業決算の発表、金融緩和政策の維持・長期化観測等を材料に株価は堅調基調となりました。9月から10月末にかけて、米国株式市場で高値警戒感が強まるなか、欧州の新型コロナウイルスの感染再拡大による行動規制再強化、米国での追加経済対策に関する与野党協議を巡る思惑から、株価は上下動し方向感を欠く展開が続きました。11月以降は、米大統領選挙でバイデン氏が当選を確実にしたことや、新型コロナウイルスのワクチン開発進展を好感し、世界的に株価は堅調となりました。

### ■ 債券市場

期初から2020年6月上旬は、各国の経済活動再開の動きや経済指標の改善による投資家のリスク選好から金利は上昇、その後、FRB（米連邦準備制度理事会）により実質ゼロ金利政策の長期化が示唆されるなど各国中央銀行の大規模な金融緩和が継続するなか、新型コロナウイルスの感染第2波、米中対立の深刻化に対する懸念からリスク回避の流れとなり、8月上旬にかけ金利は低下しました。8月中は、欧米の好調な経済指標を受けた株価上昇、米国での過去最大の国債増発発表による需給悪化懸念から金利は上昇基調となりましたが、9月には、米国での株価急落、欧州での新型コロナウイルスの感染再拡大等から投資家のリスク回避姿勢が強まり、米国金利は横ばい、欧州や日本では金利が低下しました。10月に入り、米国では大統領選後の景気回復期待や国債増発懸念から金利が上昇する一方、欧州では新型コロナウイルスの感染再拡大に伴う景気下振れ懸念から金利が低下するなど、各国まちまちの動きとなりました。11月以降は、世界的な株価上昇の流れのなか金利は上昇しました。

### ■ その他市場

インフレ連動債は、期初から2020年8月上旬にかけては、国債金利の低下に加えて、大規模な財政出動や経済活動再開を背景にインフレ期待が高まり、実質金利が低下したことを受けて堅調に推移しました。その後、8月には国債金利上昇、9月には国債金利が低下するなか、原油価格の下落などからインフレ期待が後退したことを受け、実質金利が上昇し、9月下旬にかけて軟化、10月以降は、期末にかけて各国まちまちの展開となりました。

社債は、FRBの社債購入により下支えされるなか、景気回復期待やプラス利回りを求める資金流入を受け、期の前半は、米欧ともに信用スプレッド（信用リスクを反映した上乗せ金利）は縮小基調となりました。9月に入り、社債市場の割高感や欧州での新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて信用スプレッドは拡大、10月も米大統領選挙を巡る不透明感などから特に下旬に拡大しましたが、11月以降は縮小しました。

商品指数全体では、期初から8月末にかけ大きく上昇、9月には下落、その後、期末にかけて値を戻したものの上値の重い展開となりました。原油価格は、期前半は、経済活動再開による需給改

善から上昇しましたが、9月には米国株式市場の下落などを受けて急落し、その後は燃料需給や米大統領選挙を巡る不透明感から方向感を欠く展開となりました。金価格は、8月上旬まで安全資産として上昇した後、先行き景気に対する悲観論の後退や米ドル上昇を受けて軟化し、10月以降は概ね横ばいで推移しました。銅、アルミ等のベース金属は、中国の景気回復観測の強まりに連れ、期を通じて上昇しました。穀物価格が秋以降「ラニーニャ現象」による収穫の落ち込みに対する懸念から上昇する一方、コーヒーやオレンジジュース等のソフト商品の動きはまちまちとなりました。

## ■ 国内短期金融市場

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.12\%$ から期末は $\Delta 0.10\%$ となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオ

---

### ■ 当ファンド

「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率は概ね高位を保ちました。また、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れました。

### ■ マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）

世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産クラスを投資対象とし、コンピュータープログラムを利用してポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させることで、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。

### ■ T&Dマネーアカウントマザーファンド

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異

---

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

## 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は基準価額水準、市況動向等を勘案し、250円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	当期
	2020年5月26日 ～2020年11月25日
当期分配金	250
（対基準価額比率）	2.434
当期の収益	150
当期の収益以外	99
翌期繰越分配対象額	23

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

「マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）」の組入比率を高位に保ち、「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を組入れた運用を行う方針です。

### ■ マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）

世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等の幅広い資産クラスを投資対象とし、コンピュータープログラムを利用してポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させることで、中期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

### ■ T&Dマネーアカウントマザーファンド

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続くとみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落などの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

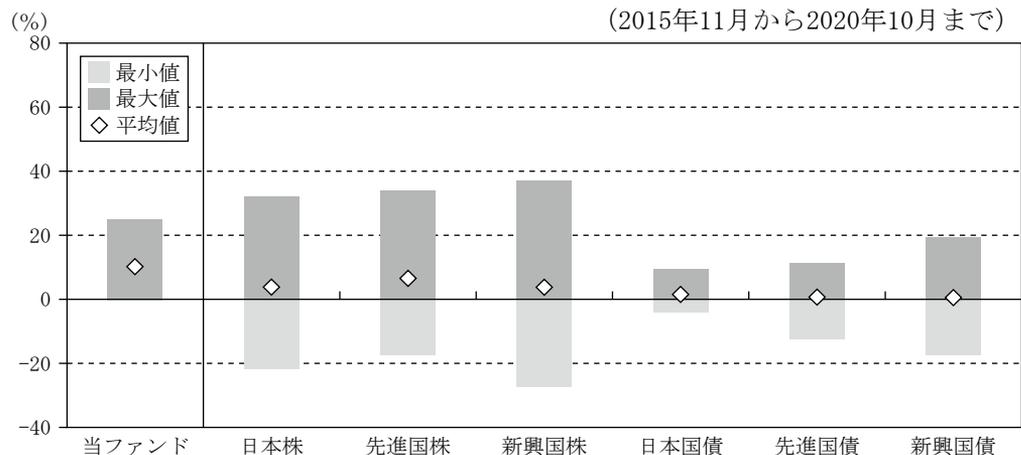
相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年7月17日から2023年11月27日まで	
運用方針	値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	アイルランド籍投資法人「マン・ファンズ・VI plc」のサブファンドである「マン・AHL・ターゲットリスク」が発行する外国投資信託証券「日本円クラス（ヘッジ付）」および国内の証券投資信託である「T&Dマネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。	
	マン・ファンズ・VI plc－マン・AHL・ターゲットリスク－日本円クラス（ヘッジ付）	デリバティブ取引を積極的に活用し、世界各国の株価指数先物、債券先物、インフレ連動債、クレジット・デフォルト・スワップ、コモディティ・インデックス・スワップ等を主要投資対象とします。
	T&Dマネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 有価証券先物取引等の派生商品取引の指図は行いません。	
分配方針	毎決算時（5月と11月の各25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

## 【参考情報】

### ■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	10.2	3.8	6.5	3.7	1.5	0.7	0.5
最大値	25.0	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△ 0.5	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

(注) 上記は、2015年11月から2020年10月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 当ファンドは2018年7月17日に設定されたため、2019年7月以降のデータをもとに表示しております。

### ○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※詳細は後述の「指数に関して」をご参照ください。

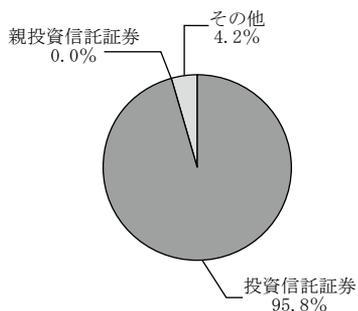
# 当該投資信託のデータ

## 当該ファンドの組入資産の内容

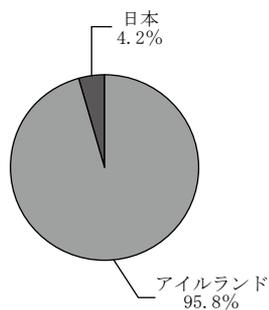
### ■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

銘柄名	当期末
	2020年11月25日
	比率
マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスクー日本円クラス（ヘッジ付）	95.8%
T&Dマネーアカウントマザーファンド	0.0
その他	4.2

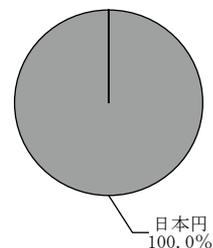
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注) 組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 純資産等

項目	当期末
	2020年11月25日
純資産総額	7,368,521,591円
受益権総口数	7,351,321,648口
1万口当たり基準価額	10,023円

(注) 期中における追加設定元本額は978,476,005円、同解約元本額は1,055,172,528円です。

## 組入上位ファンドの概要

マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスク-日本円クラス（ヘッジ付）（2019年1月1日から2019年12月31日まで）

### ■ 基準価額の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2018年12月31日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

以下は、「マン・ファンズ・VI plc-マン・AHL・ターゲットリスク」の状況です。

### ■ 組入銘柄（債券）（上位10銘柄）（組入銘柄数：16銘柄）

銘柄名	国	比率
Deutsche Bundesrepublik Inflation Linked Bond 0.5% 15/04/2030	ドイツ	13.1%
United Kingdom Gilt Inflation Linked 0.125% 22/03/2029	イギリス	10.1
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.5% 15/04/2024	アメリカ	8.1
French Republic Government Bond Oat 0.7% 25/07/2030	フランス	7.5
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.75% 15/07/2028	アメリカ	6.7
United Kingdom Gilt Inflation Linked 0.125% 10/08/2028	イギリス	6.0
French Republic Government Bond OAT 0.1% 01/03/2029	フランス	5.2
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.875% 15/01/2029	アメリカ	5.0
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.25% 15/07/2029	アメリカ	4.4
United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.125% 15/10/2024	アメリカ	2.5

### ■ 為替先渡取引（上位10銘柄）（組入銘柄数：20銘柄）

通貨		満期日	比率
買い	売り		
GBP	USD	2020/1/31	0.6%
EUR	USD	2020/1/31	0.4
CHF	USD	2020/1/31	0.1
EUR	USD	2020/1/16	0.0
JPY	USD	2020/1/31	0.0
SGD	USD	2020/1/31	0.0
SEK	USD	2020/1/31	0.0
USD	JPY	2020/1/31	0.0
SEK	USD	2020/1/31	△0.0
USD	SEK	2020/1/31	△0.0

## ■ 先物取引（上位10銘柄）（組入銘柄数：38銘柄）

買い		
銘柄名	国	比率
S&P500 Emini Futures March 2020	アメリカ	0.2%
FTSE 100 Index Futures March 2020	イギリス	0.2
NASDAQ 100 E-Mini Index Futures March 2020	アメリカ	0.1
KOSPI2 Index Futures March 2020	韓国	0.1
Swiss Market Index Futures March 2020	スイス	0.0
HSCEI Futures January 2020	香港	0.0
Hang Seng Index Futures January 2020	香港	0.0
Euro Stoxx 50 March 2020	ドイツ	0.0
EURO BTP Futures March 2020	ドイツ	0.0
FTSE China A50 Index January 2020	シンガポール	0.0

## ■ トータルリターン・スワップ取引 （組入銘柄数：1銘柄）

銘柄名	国・地域	数量	比率
BBG Commex AG&LV Capital	アメリカ	2,093,000	0.4%

## ■ クレジット・デフォルト・スワップ取引 売り （組入銘柄数：4銘柄）

銘柄名	国・地域	数量	比率
NAHYS 33V2 5Years 500bps 20 December 2024	アメリカ	△245,000,000	1.5%
ITraxx Xovers 32V1 5 Years 500bps 20 December 2024	欧州	△105,000,000	1.0
ITraxx Europes 32V1 5Years 100bps 20 December 2024	欧州	△510,000,000	1.0
NAIGS 33V1 5Years 100bps 20 December 2024	アメリカ	△585,000,000	1.0

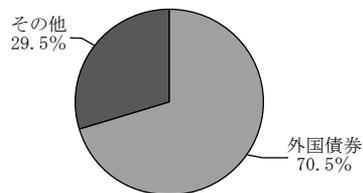
## 買い （組入銘柄数：1銘柄）

銘柄名	国・地域	数量	比率
NAIGS 33V1 5Years 100bps 20 December 2024	アメリカ	5,000,000	△0.0%

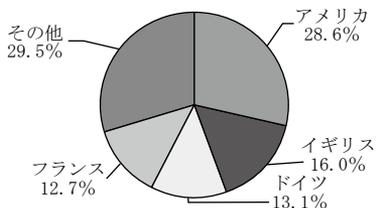
## ■ 1口当たりの費用明細

1口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示することができません。

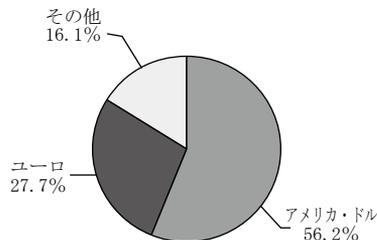
## ■ 資産別配分



## ■ 国別配分



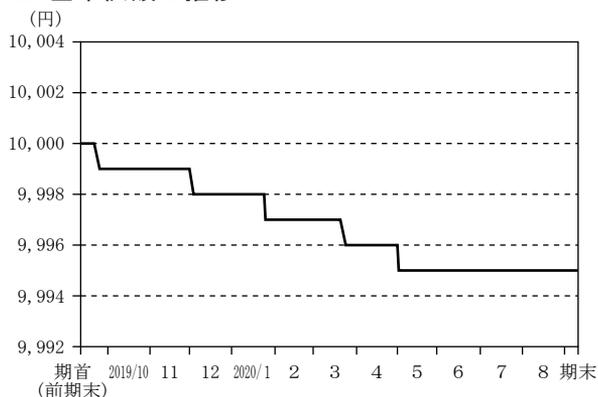
## ■ 通貨別配分



- (注) 組入銘柄、為替先渡取引、先物取引、スワップ取引および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。日付は現地基準日です。  
 (注) 組入銘柄、為替先渡取引、先物取引、スワップ取引および各配分の比率は純資産総額に対する評価額（先物取引、スワップ取引については、監査済報告書の損益計算書上のFair Value）の比率です。  
 (注) 組入銘柄、為替先渡取引、先物取引、スワップ取引および各配分はマン・グループ・ジャパン・リミテッドより入手したデータをもとに作成したものです。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

■ 基準価額の推移



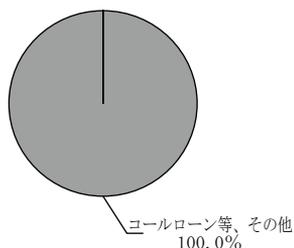
■ 組入銘柄

当期末における組入れはありません。

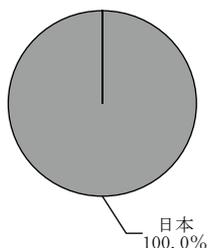
■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	2019/9/11~2020/9/10	
	金額	比率
平均基準価額	9,996円	
その他費用 (その他)	0円 ( 0)	0.001% (0.001)
合計	0	0.001

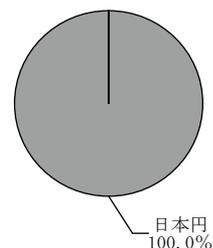
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 1万口当たりの費用明細は直近の決算期のものです。費用項目につきましては2ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。また、その他費用のその他は金銭信託に係る手数料です。

(注) 各配分のデータは直近の決算日現在のものです。

(注) 各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## 指数に関して

### ○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

#### MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

#### MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

#### NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

#### FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPMorgan社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPMorgan社に帰属します。

**T&D**

T&D保険グループ